

⑰一級河川 桜川における「水辺の楽校」の取り組み

キーワード ソフト施策、農村と都市の交流、地域振興、住民連携

全建賞審査委員会の評価ポイント

群馬県川場村を流れる桜川において、都市と農村の交流などで訪れた子供たちが身近な自然を体験することができるよう、地元の学校や住民に加え相互協定締結先の都市側を含めた協議会で整備方針を定め、安全に遊べる水辺環境や自然を残した遊歩道の整備等を行った取り組み。

平成28年度の完成以降、協定締結先区内の小学校64校の移動教室で利用されており、都市と農村の交流の場として構想段階から利用段階まで活用されている点や、地域住民の桜川に対する関心の高まりにも寄与している点が評価された。

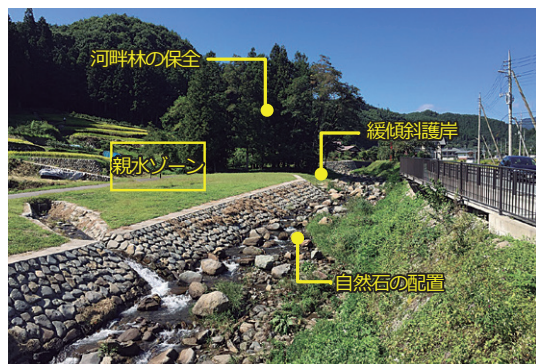
1. はじめに

川場村では、東京都世田谷区と区民健康村相互協定を締結し、都市と農村の交流事業が35年以上続いている。昭和61年度に開設した世田谷区民健康村「ふじやまビレッジ」では、区民の保養の場として利用されるとともに世田谷区の小学校64校を対象とした移動教室を行っており、川場村の子供たちと交流を図っている。

桜川は「ふじやまビレッジ」のすぐ脇を流れる豊かな自然が残っている川である。しかし、子供たちが安全に川へ近づける場所がなく、地元自治会や世田谷区川場ふるさと公社等から、「桜川を自然観察やハイキングの場として整備してほしい」と要望が出されたことから本事業が始まった。

2. 事業の概要

都市と農村の交流等で訪れた子供たちが身近な自然を体験できるよう、地元住民が中心となった協議会「桜川ふれあいの水辺づくり推進協議会」が平成11年度に設立され、地元住民、川場村、世田谷区、群馬県が協働して自然と触れあえるような川づくりの整備方針を定め、安全に学べる水辺環境や自然を残した遊歩道の整備等を実施した。



整備後の様子（平成29年9月14日撮影）

受賞機関 群馬県 県土整備部 河川課
群馬県 利根沼田振興局 沼田土木事務所

3. 事業の成果

川づくりにあたっては、飛び石を水辺につくり、子供たちが魚や水生昆虫、花等の自然に触れ、子供の感性を養うような環境にするとともに、棚田等の田園風景を楽しみながら歩ける遊歩道、砂防えん堤下流の水場を活かした河川プールの整備等を行った。改修というより、自然豊かな桜川の表情を守るため、自然に手をつけない川づくり、訪れる人々が自然を肌で感じ、都市と農村の人々の触れあいの場の創出を心がけた川づくりとした。

4. おわりに

本事業は、単に河川整備に留まらず、小学校の移動教室で交流のある世田谷区と地域住民、川場村、群馬県が協働することで、良好な河川環境の創出、周辺の景観と調和した環境整備を実現することができた。さらに、本事業を契機として、地域住民の桜川に対する関心が高まり、河川整備後も積極的に草刈り等の維持管理を実施し、桜川右岸に広がる棚田では竹灯籠を灯すイベントを実施するなど、地域の活性化に寄与できたことが大きな成果となった。



桜川を使った環境学習の様子

桜川の河川整備事業は地元で好評で、水辺がきれいになったことで周辺の環境への関心も高まっている。富士山地区では「富士山集落活性化協議会」が発足し、桜川の自然を保全し、末永く次の世代まで残すため、積極的な河川愛護活動に取り組んでいる。また、川場村でも、河川整備をきっかけとして、水車小屋の建設やワサビ田の整備を行うなど新たな観光スポットとして観光振興を図っている。

賛助会員 オリエンタル白石(株)、三川建設(株)